

プロジェクト名：釧路東部地区天然コンブ漁場再生活動によるCO2吸収源増 について

(申請者：釧路市東部漁業協同組合、釧石工業株式会社、株式会社JBP)



◆ プロジェクトの概要



北海道道東地区は、ナガコンブなど優良コンブの生産地として知られ、天然コンブ漁が盛んである。その天然コンブ漁にて、従来、流氷の接岸がコンブ資源の維持に重要な役割を果たしてきたが、近年の地球温暖化の影響により、流氷の接岸が少なくなったことや、地元漁協の労働力減少等により天然コンブ漁場には大量の雑海藻が繁茂し、コンブの生産性が著しく低下していることを懸念。



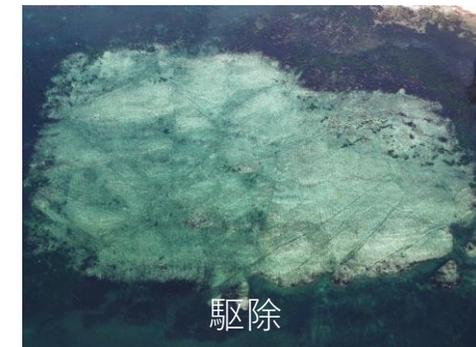
釧路市東部漁業協同組合、地元の釧石工業株式会社と株式会社JBPの協働によりコンブ漁場の再生と二酸化炭素吸収量を増やすことで地球温暖化の緩和に寄与するもの

◆ プロジェクトの特徴・PRポイント

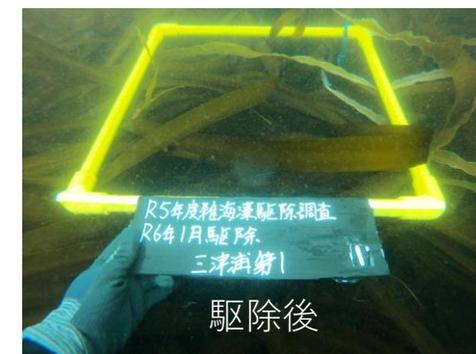
- ポイント1 従来の流氷の接岸が果たしてきた役割を人工的に作り上げ、天然コンブ漁場で1991年から行われている「雑海藻駆除」の手法を取り入れたこと。
- ポイント2 多くの天然コンブの養生を図ることにより、天然コンブの藻場維持・拡大を図り、CO2の吸収量も増やすことで地球温暖化に寄与。
- ポイント3 コンブの育成量増加に伴うブルーカーボンプレジットを活用して、今後とも活動を継続・拡大し、地域産業の維持・拡大につなげる。



駆除前



駆除



駆除後